

2021年(令和3年) 6月 23日(水) 第30回例会(通算2904回)

国際ロータリー第2580地区



# 石垣ロータリークラブ週報

会長：森田 安高 副会長：黒島 剛 幹事：東上里 広和 副幹事：吉田 貴紀

今月のロータリーレート 1\$¥109

創立年月日：1962年3月12日

今年度創立60周年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度RIテーマ

RI会長：ホルガー・クナーク

地区ガバナー：野生司 義光氏

2020-21年度 ◆クラブテーマ◆ 【心機一転】

クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくくる(心)

☆地区年次目標☆

「会員増強」

「公共イメージの向上」

「ロータリーデーの開催」

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなの為になるかどうか

シリーズ：森の名人・戸眞伊さんと森の木

石垣方言：アカトウフェー

和名：オオハギ

文字通り、とにかく葉っぱが大きい。葉の大きさが、小さい幼木の時から30cmもあるのに、成長とともに小さくなっていく不思議な木。別名ヒノマルギとも呼ばれ、若葉の茎を切ると、日の丸みたいに中心から赤い汁が出てくるからだそうです。建材にはむかないのですが、戸眞伊さんは皿や器に加工しています。



## 5月19日(水) 例会報告

《司会進行：吉田 貴紀》

ロータリーソング：手に手つないで 四つのテスト

ソングリーダー：大浜 勇人

ゲスト：国仲恵亮氏(八重山青年会議所理事長)

メイクアップ：遠藤 正夫 大田 次男 前木 繁孝

小林 昌道

会員総数	46名
出席義務会員	45名
出席数	29名
欠席数	16名
出席率	64.44%
通算出席率(5月)	62.22%

★6月のプログラム 6/23(水) 今年度の活動報告(各委員会) 6/30(水) 納め会

例会日 水曜日 12:30~13:30

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail [ishirota@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishirota@ninus.ocn.ne.jp)

## ◆ 会長挨拶:森田 安高 ◆



皆さんこんにちは。  
気象状況については、沖縄県、石垣もそうですが梅雨が明けたような異常な状態になっていて、梅雨入り宣言から3日ほどは雨模様もありましたが、それからはずーっと晴れて、前線も九州あたりで停滞したりして異常な状態になっています。その中で県が緊急事態宣言を国に要請するという発表がありました。私、観光業界としてまた船会社として、明日からまた減便を決定いたしました。今月の31日までの予定です。これが延長すればまた減便も延長しますけれども、運送会社も飛行機も船も本当に大変な状況です。緊急事態宣言の言葉の重さが業者にとっては死刑宣告のような1回目、2回目、3回目と段々と危機感が増してきました。国の要請で補助金が決定しましたと言っているなかで、国や県から補助金が降りてないというこの現状、決定額は出たのにまだ皆さんの手元、我々の手元に入っていないというタイムラグが一般の事業主に危機感をあおっているなという気がします。石垣島もクラスターが出て学校閉鎖もいくつか出ていると聞いています。60周年事業から約3週間立っていますが、開催して何事もなかったと安心してあります。皆さんも仕事で島外に行くはずですが、ちゃんと皆さんが自分の健康管理とコロナ対策をした事だと思っておりますので、お礼を申し上げたいと思います。皆さん本当にありがとうございました。

## ◆ 幹事報告:東上里 和広 ◆

那覇 RC より「ロータリーデー文化講演会」のご案内が届いております。講演者はロータリー財団理事長の千玄室パストガバナーによる「看脚下(足元をみつめなよ)」の演題となっております。開催日は6/13(日)場所は沖縄県男女参画センターで13:30~14:40までの講演です。収容人数を減らしての開催となっておりますので、参加を予定される会員の皆様は早めに事務局までお申し込みのほどよろしくお願ひ致します。本日、事務局にて60周年記念事業の記念誌作成委員会の集まりがあります。担当者の方はお時間を取って事務局まで来て頂けたらと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

ゲスト卓話  
国仲 恵亮 氏

(八重山青年会議所 理事長)

## ◆ テーマ ◆

八重山青年会議所  
2021年度の  
取組みについて

皆様こんにちは。私、一般社団法人八重山青年会議所第60代理事長を務めております国仲恵亮と申します。宜しくお願い致します。本日は、貴重なこの場にお呼び頂きまして誠にありがとうございます。当青年会議所は、今年60周年を迎えております。先日、RCさんの60周年記念式典には、私も参加させて頂いたですけれども、非常に凄いエネルギーを感じて私たち青年時代も負けられないような対外発信を行ければなと感じました。また、こうのように石垣 RC 様と八重山

青年会議所の私たち若い世代と一緒に共に石垣市、八重山全体、ひいては日本全国、世界中で同じような団体だと思っておりますので、ぜひとも一緒に活動して参れればと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。1952/5/1 生まれ、海星小学校、石垣第二中学校を卒業して沖縄本島の高校に進学し、熊本学園大学を卒業。(有)国仲スポーツ社の代表取締役を務めさせて頂いております。もう一つにクニナカスポーツスクールとありますが、私自身はプロのテニススポーツの資格を取り、30から始めて今9年目となります。後に八重山青年会議所に入会して9年になりますので現在、3足のわらじを履きながら日々活動しております。家業のご説明を致します。【スポーツ応援企業】1972年創立、家族経営の3代目の代表取締役です。石垣島で2店舗を営んでおり、スポーツを愛する人達を応援する一環として「国仲スポーツ杯」を開催しており、各5協会や連盟と提携して石垣島のスポーツ界を盛り上げております。私の理念として【石垣島から世界へ】を掲げております。テニスを通じて、スポーツの楽しさや自分自身を表現する力を伝えてます。子ども達には、常に大きな夢を持ち、小さな器に収まることなく、将来大きな舞台で活躍する人間になって欲しいと願いを込め、日々の積み重ねを大切に全力で楽しく練習しています。私自身もいろいろ大会の視察にも行っており合計で21カ国、特にヨーロッパを中心に行きました。石垣島の子供たちも連れて行って夢を広げていくという活動もしております。なかでも思い出に残っているのが、2012年、全仏オープンでプロの選手とのフィッティングパートナーとして私に声がかかったという経歴があります。大会では子供たちが出来るような会場もあったり、錦織選手とも写真を撮って良い経験をする事ができました。その後石垣島に帰って来て、この空気感を味わってもらいたという事を思い「石垣から世界へ」という理念を掲げさせて頂いております。今日の本題に入らせて頂きます。【幸せ溢れる八重山】明るい豊かなまちづくりを理念に、今年で創立60周年を迎えます。2021年、第60代理事長を務めさせて頂くことになりました。八重山全体の発展と、郡民一人ひとりが笑顔になり、幸せになることを目的に日々、青年会議所運動を邁進しています。①青年会議所とは? 20歳から40歳までの青年でリーダーを志す、青年経済人の社会活動を目的とした団体であります。世界中で、114カ国が加盟しており日本には、691青年会議所が活動している国際的な青年団体です。「魚を与えるより、釣り方を教えよ」「ゴミを捨てるのではなく、ゴミを捨てさせない社会を創る」いろいろな言葉がありますが、私の心に残った言葉です。物事には正解がない事もありますが、その中で正解をいきなり出してしまうという事は一時的な問題解決にはなりますが、これが持続でき、また次の世代へ残していくには、今だけにあったことではなく、社会全体を残すという意味でもこの言葉を掲げながら青年会議所を務めさせて頂いております。②過去に取り組んだ事業。2012年に入会して9年間の間に委員長を3回経験いたしました。入会2年目の2014年に青少年育成委

員会の委員長に配属され、その年に我喜屋伸将先輩が理事長でそこで言われました。日本一というのを子供たちに味わせてくれないか、子供達に本物という定義を体験させて成長させてくれないかとお願いがきました。そこで委員会が考えたところ、2014年に富士山が世界遺産に登録された事もありますので、子供たちをぜひ富士山の頂上に連れて行き、またご来光を見せ、自分の新たな気持ちと向き合っているというような事業をさせて頂きました。チャレンジ富士登山!! 参加者は14名。頂上に登るには非常に険しい道のりで、小学校1年生も参加していましたが途中でリタイアしたり、どうしても6合目、7合目からは高山病にかかってしまうという子供たちもいますので、結構過酷な事業でしたが、大きな達成感を味わって子供たちには良い体験をさせたのかなと、感じております。2017年、政治参画向上委員会では、吉田先輩が理事長の時に挑戦させて頂きました。選挙権が20歳から18歳に引き下がった年で、そこで言われた事は「子供達に保守と革新の違いを正しく楽しく教えてくれないか」というような言葉を預かり頑張りますとの返事をさせて頂いて、この時には世の中チラホラ見られてきたのがYouTubeで、力のあるYouTubeの力を借りて動画を作っているというような事をやりました。地元の先輩も一緒に企画して、地元の高校生も踏まえているような場所を巡り、こんな島があるよ、こんな島を作っていくのは自分たちには選挙権があるのでしっかり投票に行こうというような内容であります。まだYouTube内に「そうだったのか八重山」という題名で残しておりますので、皆さん是非、時間のある際はご覧ください。2019年、共生社会推進委員会、福祉の委員会を担当させて頂きました。福祉にはどのような課題があるのかなと相談したところ、石垣市ひとり親団体協議会というのがあります。前里会長にひとり親の家庭で何が一番負担になるのかという事を相談に行くと、まずは新1年生になった時のランドセル購入費が一番出費がかさむという事なので、子供たちへランドセルを贈呈したい、ただただお金を寄付してというのではなく、自動販売機を通じて、売上金の一部をランドセル購入費に当てて、ひとり親の家庭に贈呈するという事業を行いました。こちらは非常に好評で、2019年単年度制の事業ではありますけれども、初年度7名の子供たちに渡すことができ、好評だったので翌年も、もう一度やってくれないかという声がかかってもう一度しました。現在もこの自動販売機はあります。私のお店にもあり、かりゆし病院内にも他にもあります。このような仕組みを作るといような事業が出来たことに満足しております。引き続きこれも続けさせて頂きます。もう一つには、ユニバーサルツーリズムという事業を行いました。こちらと同じ石垣市の福祉課に現状を聴いてみると、石垣市身体障がい者協議会という団体があります。3つの団体があるそうです。1 視覚、2 聴覚、3 肢体不自由の3団体となります。その団体に現状どういったことがありますか?と聞いたところ、障害を持っている方達は、私たち自身の事を知ってもらいたいというような声でした。では石垣市とどのような連携が取れています

か?石垣市とはスムーズに進んでいますか?それは進んでいる、自分たちも講演会をしたり、何かを一緒に取り組むというのは出来ている。じゃ何から始めたらいいかと考えたところ、私たち青年会議所会員と触れ合って、石垣の観光地を巡って交流をしようという話しになりました。ただ私たちと交流するだけなので、もう一つパートナーを増やそうという事で、商工の観光コース20名の生徒達を呼んで3団体で石垣島の宮良川に行つてカヌーに乗せました。カヌーは二人乗りで、目が見えない方をカヌーに乗せる、障がいがある方を高校生の前や後ろに乗せる、そしてカヌーを漕ぐということが非常に難しく、また距離が縮まるという良い体験をさせて頂きました。それから底地の方でもバーベキューもしました。障がいがある方達のこれまでの経験のお話しをして頂き、正直涙が出ました。私も生きていくなかで障がいがある方達の苦労は聞いた事はあるのですが、半日を過ごして感情が入ってくると「何かしなければならい」という高校生にも伝わって、数名の方が涙を流している様子を見て、これからの石垣島を作っていくなかで、障がいがある方はずしてはならない、ユニバーサルな社会を作らなくてはならないというように感じました。そこから商工の生徒たちと障がい者を交えて後日、学校に戻つて石垣市に提言する文書を共に作成し、中山市長のほうに提言するという事業を成し遂げて、9年間のなかで一番、思い入れのある事業でした。③2021年度の取組み「幸せ溢れる八重山」をスローガンにしております。一つ目に「LRT推進委員会」インパクトのあるタイトルになっていますけれども～離島初LRT(次世代型路面電車システム)導入に向けて。LRTを石垣島に持ってくる事がゴールではありません。私達が住む沖縄には、沖縄にしかない法律があります。「沖縄振興特別措置法」1972年本土復帰以降、沖縄は歴史的・地理的・社会的事情による自立的発展と豊かな生活の実現を目的に、国から10年を期限とした計画や支援をされており、今日まで第5次にわたる特別措置をされています。しかしこれも今年2021年度末に期限を迎え、終了の予定となっている現状です。ただ地域の人達が予算が下りてくるのを待っている現状だと、規模縮小と予算は必ず減少してきます。LRTを引っ張ってくるという方向ではなくて、地域に公共工事を持ってくる、地域に大きな街を作りたいという思いからインパクトのあるタイトルをつけさせて頂きました。目標は、交通の便、障がいのある方、高齢者の交通をスムーズに移動して、住みやすい街づくりをしていくという事を、10年構造としての一年目としてスタートしていきたいと考えております。二つ目に「介護福祉改善委員会」先程のユニバーサルツーリズムで私は非常に心動かされました。今年は、福祉を取り組んで行きます。福祉施設、石垣島にははありますが、離島は少ないのが現状です。今あるのは、高齢者の方達が在宅を通して石垣市の介護福祉士を島から離島へ派遣して各家を回るというようなことをしております。介護福祉士も現状、年々減っていくなか、最終的なゴールは石垣市の3高校のどちらか1校のなかで、介護福祉科を新設して、石垣の中学校だけで

なく、沖縄県内、県外から石垣市の介護福祉科を目指してきて、在学中に介護福祉士を取得する。沖縄県内には、介護福祉科は南部農林高校の1校しかありません。実現すれば2校になり、生徒達が石垣の事業所に就職するという流れが作ればいいと考えております。三つめに「青少年育成委員会」私は、スポーツを仕事としておりますので、子供達に夢を諦めない、石垣島で生まれた子供たちが、私たち八重山に住む一人ひとりが子供達の親鳥の気持ちで見守っていききたい、そういう事業を務めさせて頂く予定です。総務委員会では、4/11に新春祝賀会改め、春の懇親会というような事をさせて頂きました。一年の発表と臨時総会を来月に行つて、しっかりとした運営を進めていきます。「60周年企画室」台湾にある蘇芳JCとの姉妹締結40周年交流事業、最北端の稚内JCとの姉妹締結5周年交流事業を考えております。創立60周年のテーマは「感謝」先輩達に、感謝。地域に、感謝。子ども達に、感謝。八重山全体に60年分の恩返しをするというテーマのもとに60周年事業を進めさせて頂きます。2019年日本青年会議所は外務省と「SDGs推進におけるタイアップ宣言」を行いました。前に進むには、いまJCは

SDGsに取り組んでいます。2030年に向けてどのような八重山を作っていくのかというところを考えていきます。また、石垣市も「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に認定されました。八重山青年会議所と一緒に石垣市全体が持続可能な社会を作っていくようなSDGsに取り組んだ1年にしていきたいと思っております。最後に、『YAEYAMA2030プロジェクト』というのを考えております。8/1の60周年記念に皆さんに大々的に発表をさせて頂きますので、どうぞその時までにお楽しみに取って頂ければと思います。自分はどこの何者なのか？いままでどのように生きてきたのか？これからどのように生きていくのか？幼い頃から育ててもらった地域に、感謝をすることを忘れない。私が石垣市に生まれて、親から授かってもらった命をどうふうに作ってきたのかを考えながら、八重山に恩返しをするという事に意識を持って取り組んでいます。また、皆様とこういうような夢を、熱い想いを共有しながら石垣市が日本が世界中がより平和なこととなりますように。そして短い時間でしたが、皆さんとい時間をお過ごししました。八重山青年会議所理事長の卓話とさせて頂きます。ありがとうございました。

～例会風景～



国仲恵亮様  
卓話ありがとうございます。



本日のニコニコ

- ★森田安高氏: 国仲理事長、ゲスト卓話ありがとうございました。 ★橋本孝来氏: 国仲さん 卓話ありがとうございます。
- ★黒島剛氏: 国仲様 今日卓話ありがとうございました。 ★今西敦之氏: 大濱達也 会長 商工会会長就任おめでとうございます。 ★吉田貴紀氏: 国仲理事長、ゲスト卓話お疲れ様でした

◆BOX ¥6,000 (累計 ¥206,418) ◆コイン ¥2,639 (累計 ¥60,011) 合計 ¥266,429

6月

新城 永一郎 氏 10日(木) 前原 博一 氏 22日(火) 中山 義隆 氏 26日(土)

happy BIRTHDAY